

今回の花キューピットの的なことが思わぬ波紋を呼びました。この仕事に関わった、我がシルバーの会員さんたちもいい思いをし、何よりももらった中学生、学校関係、また親たちもとても喜んで頂きました。それに加えNHKを始め、様々なマスコミで報道されたことで、この度のコロナ騒動の最中で、国民の皆さんも疲れ気味のこともあり、心温まるニュースとして感じた人が色んなメッセージをくれて、改めていいことをしたと感じました。

淡水会の皆さん、身近に「シルバー人材センター」があるというのをご存知ですか。全国的には、各市町村など各自治体にあります。平成30年資料ですが、大半が公益社団法人で1,331団体、会員数は71万人余り、事業は請負、派遣事業など多様で、契約金額は約3,200億円で、各家庭や、企業などのニーズに応じております。国としても、少子高齢化で、高齢者の健康や労働面など総合的な福祉政策、また働き方改革などを進めています。また今後予想される2025問題など後期高齢者が数年後には3割以上になることから、60才から登録会員になれて、知識や、経験を生かせ、自分たちの健康維持や社会貢献の意味からも、厚労省の補助金が年々増加していることを見ても国はシルバー人材センターの活動に大きな期待を寄せています。

私は、石川県の能登半島、その中でも真ん中に位置する中能登町の公益社団法人中能登町シルバー人材センターの理事長を昨年より務めています。神戸商大、学部22回の卒業で、平成16年に勤めていた会社を辞めて田舎に戻りました。ちょうど平成17年は市町村大合併の時期に当たり、当時のシルバー人材センターが3町の合併というタイミングに田舎に戻り、縁があったのかシルバーの事務局に籍を置くことになりました。いろんなことがありましたが、結果として65歳の定年までの9年間を勤めました。その後、近くにある知的障害者施設「つばさの会」で3年間務めさせてもらい、昨年春に再び古巣のシルバー人材センターの世話をさせてもらうことになりました。

前置きが長くなりましたが。この3月14日に行われた町の中能登中学校の卒業式に町から借りている「ハウス村」という大きなハウスで育てたフリージア（石川県が品種改良して『エアリーフローラ』の商品名で全国販売）を卒業生180人にプレゼントしました。「旅立ちを祝う花」というキャッチフレーズと「希望」の花言葉を持つエアリーフローラで卒業式に花を添えることになりました。新型コロナウイルスの影響で、式が大幅に縮小されたことで、本当に一華添えることになり、NHKも地方版、中部版、おはよう日本の全国版でも2回、BS4Kでも放映していただき、全国から様々な反応がありました。そもそも私とこの花との縁は、10年近く前に県が『エアリーフローラ』というフリージアの改良品種を作った時に遡ります。以前在籍した時に、県も栽培農家を探していたのでしょ。県の職員さんから、ハウス栽培を手掛けている私のシルバーに電話がありました。「卒業式に子供さんたちに贈ると喜ばれる『希望』という花言葉の花があります。作ってみませんか」という言う電話に「やりましょ」と答え、研修会に行くなどして作り始めました。その年は、最初の栽培でもあり、技術的な面もあったのでしょ。結果は卒業式に間に合わず、そのまま立ち消えになりました。私もシルバーを去ったのでそのままになっていました。それから5年も過ぎ、昨年シルバーにカンバックして、この花の栽培状況を見た途端、火が付いたように、本格的に栽培しようと決めました。昨年9月に、イエロー、ピンク、パープルの球根を女性会員さんと約一万個植え付けました。栽培にもいろんな工夫が必要で、背丈

が70～90センチになり、成長するにつれ茎が傾いたりすると、幹が歪曲するので、10センチ四方のネットを丈の成長に合わせて上げていく手間と、温度に敏感なのでストーブを炊いたり、窓の開け閉めをまめにするなど、それなりの苦勞はありました。でも今回のことで少しは報われた気分です。中学校にプレゼントし、また各小学校、町内の保育園などにもプレゼントをしました。その他にも、道の駅や、農協の直売所、公共の風呂施設などで販売し、ずいぶんと好評でした。私たちが育てたのは3種類ですが、石川県では新たに開発された色もあり、現在11種類あります。この花は、花もちがとても長い（2週間くらい）、色が鮮やか、香水のような香りを持っている、優しさと華麗さを持ち合わせたところが特長です。

最後になりますが、私たちのシルバー人材センターの宣伝を兼ねて少し紹介させていただきます。私たちの町は人口が18,000人足らずで、シルバー人材センターの会員は250人ですが、県下では規模の大小は別にして就業率や受給配分金は常にトップランナーです。業容とすれば各家庭や、企業、また公共の委託、請負、派遣の仕事が主ですが、1.5億円位の事業実績です。独自事業として会員の雇用創出を目的として、二つの事業を行っています。一つは剪定きり枝をチップ化してエコサイクルの【土壌改良剤】の製造・販売しています。牛糞や、米ぬかなどを混ぜて1年ほど養生して完熟したものを販売していますが、着実に伸びています。また、もう一つは今回話題になった植栽事業で各種の野菜を栽培して道の駅や、町内の色んな施設での販売、また今年度は10,000株のフリージアを育てましたが、会員さんと一緒になり事業の拡大を目指しています。町から借り受けていますが、鉄骨のビニールハウス5棟と言えば全国的にも珍しいと思います。四季に合わせて花以外にもいろんな野菜を栽培しています。